

高病原性鳥インフルエンザ発生時の所内対応実地演習を実施

当センターでは、高病原性鳥インフルエンザ発生に備え、備蓄保管している防疫服や長靴、マスク、手袋など防疫資材を迅速かつ円滑に発生農家の前線防疫基地や車両消毒ポイントへ搬出するため、対応マニュアルを策定しています。

本年も冬鳥の本格的な飛来シーズンを迎えた 11 月 16 日に、当センター職員が、対応マニュアルの確認と資材の搬出・引渡の実地演習を行いました。

国内各地の野鳥から、また、11 月 28 日に青森県、29 日には新潟県の家きんから高病原性鳥インフルエンザウイルスが相次いで確認されていることから、動力噴霧機の再点検を行うなど、家畜防疫体制を支える取り組みを進めています。



車両消毒ポイントでの必要資材をトラックに積み込み、搬出演習を行う職員



動力噴霧器の動作確認等器材の再点検を実施